



国秀が 真紀の 世界を 歩きたい

若手クリエイターを起用した半径5mの世界の映画を作る。それがこの映画を作るときのテーマだった。今回プロデューサーで参加してくださっている、脚本家の梶原阿貴さんからたくさんの企画書を見ていただき、その中で粗削りだけど、妙に生々しい企画書を見つけた。それが『かかってこいよ世界』だった。誰にでも考えられるストーリーではないかと、最初感じた。本人たちと面談した時、その理由が分かった。彼女たちが経験したことが物語の中に反映されていたのだ。私は若手クリエイターと組んで作品を作る時、彼ら彼女らにしか作れないものを引き出す、本人たちのエネルギーをうまく作品に反映させることを大事にしている。

『かかってこいよ世界』は女性監督、女性脚本家、女性プロデューサー、主演、音楽家等女性チームで作られた。繊細で優しい空気感を体験していただきたい。

—— エグゼクティブプロデューサー：鈴木祐介

「世界を一步、
優しくしたい」



脚本家を目指している浜田真紀は、新井国秀と運命的な出会いを果たし、恋に落ちる。国秀が配給する映画を真紀の祖父が営む「白鯨坐」で上映することが決まり、2人の仲は徐々に深まっていく。ある夜、国秀は真紀に自分が在日韓国人3世であることを打ち明ける。韓国人を嫌っている母・文代の上京や、「白鯨坐」の炎上騒動。真紀の言葉に傷つき、去っていく国秀。真紀は自分の差別心と戦い、国秀と向き合うことができるのか——。

Story



佐藤 玲
飛葉大樹 / 武藤令子 幕 雄仁 鈴木秀人 / 三原羽衣
小沢和義 (友情出演) / 浅見小四郎
菅田 俊

監督：内田佑季
脚本：高田沙紀 音楽プロデュース：吉川清之 音楽：安田ラミファ
主題歌：土屋アンナ「Atashi」(MAD PRAY)

製作：奥村雄二 人見剛史 エグゼクティブプロデューサー：鈴木祐介 プロデューサー：神崎 良 佐久間敬樹 梶原阿貴
撮影：御園涼平 照明：横尾 慶 美術：SAKI 録音：森永昇吾 編集：横田夏美 制作担当：山本和生 助監督：鈴木農史
メイクアップ：鳴瀬聖人 衣装：中村 尚 ヘアメイク：菅沼凌子
制作プロダクション：Gカンパニー 配給：宣伝：ライツキューブ ©「かかってこいよ世界」製作委員会 (TOKYO CALLING / ライツキューブ) 2022/JAPAN/DCP/STEREO/80min



8.25 Fri ロードショー (一週間限定上映)

前売券 (1,500円) 劇場窓口にて絶賛発売中

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館B1F

〒テアトルシネマグループ

テアトル新宿

03 (3352) 1846 ttgc.jp

もう逃げない…
だって
好きだから

かかかって こいよ 世界

やっと見つけた恋。それを引き裂いたのは、「私」?
国籍というアイデンティティに揺れるふたりの不器用すぎるラブストーリー。

佐藤 玲
飛葉大樹 / 武藤令子 幕 雄仁 鈴木秀人 / 三原羽衣
小沢和義 (友情出演) / 浅見小四郎
菅田 俊

監督:内田佑季
脚本:島中沙紀 音楽プロデュース:吉川満之 音楽:安田ラミファ
主題歌:土屋アンナ「Atashi」(MAD PRAY)
製作:奥村雄二 人見剛史 エグゼクティブプロデューサー:鈴木祐介 プロデューサー:神崎良 佐久間敏則 権原阿貴
撮影:御園涼平 照明:横尾慶 美術:SAKI 録音:森永昇吾 編集:橋田夏美 制作担当:山本和生 助監督:鈴木農史
メイキング:鳴瀬聖人 衣装:中村 純 ヘアメイク:菅沼凌子
制作プロダクション:Gカンパニー 配給:宣伝/ライツキューブ
©「かかかってこいよ世界」製作委員会 (TOKYO CALLING / ライツキューブ) 2022/JAPAN/DCP/STEREO/80min